

## ●試合要領・注意事項

1. 予選ラウンド（男子 1R・2R・3R、女子 1R・2R）
  - (1) ブロックごとのリーグ戦とし、リーグ戦の勝者もしくはリーグ戦の勝者同士の対戦で決勝ラウンド出場を決めます。  
予選ラウンドは、1セット6ゲーム先取（デュース1回のノーアド）で行います。
  - (2) リーグ戦の勝者決定は次の順序によるものとします。 1. 勝率、2. 得失ゲーム差、3. 直接対決の勝者、4. ジャンケン
  - (3) 2 チームによるリーグ戦は、2 試合行い、1-1 の場合、3 試合目は 7 ポイント先取タイブレークとする（スーパータイブレーク）。
  - (4) 試合前の練習は各自サーブ 4 本のみとします。
2. 決勝ラウンド（男子 4R・QF・SF・F、女子 3R・QF・SF・F）
  - (1) 1セット8ゲームマッチ（8-8 12ポイントタイブレーク／デュース有り）とします。
  - (2) 試合前の練習は各自サーブ 4 本のみとします。
  - (3) ラッキールーザー制度（連盟細則 H21/4 改正）
    - ・本戦当日にデフォがあった場合、その補充にラッキールーザーを当てる。ラッキールーザー有資格者は予選（第1日目）出場者に限られ、その最優先者は予選最終ラウンドにおける全ての敗者とする。
    - ・ラッキールーザーは、受付終了時間に来なかった選手に代わり試合に出場できるものとし、欠員数よりラッキールーザーの届け出が多い場合は抽選にて選手を決定する。
    - ・ラッキールーザーは、本戦が行われる日の第1試合の受付終了時間までに、本部席に届けなければならない。
3. 決勝
  - (1) 男子決勝は3セット6ゲームマッチ（6-6 12ポイントタイブレーク／デュース有り）とします。
  - (2) 女子決勝は1セット8ゲームマッチ（8-8 12ポイントタイブレーク・デュース有り）とします。
  - (3) 試合前の練習は5分間とします。
4. 諸注意
  - (1) 試合方式は、大会運営上、時間などに支障があると予想される場合は変更される場合があります。実行委員の指示に従ってください。
  - (2) 出場者は定刻10分前までに各会場の本部に出席を届けることとし、試合開始のコール後、最初のコールから5分以内にコートに入らなかった場合は棄権といたします。
  - (3) 試合はセルフジャッジとします。出場者は、テ

ニス規則・倫理規定を最優先にプレーしてください。

- 決勝戦もセルフジャッジとしますが、主審をつけたオーバーコール方式とします。
- (4) 予選ラウンドでは、ブロック管理者（各ブロックの最上位に記載者）が試合結果を本部に報告し、使用ボールを返却してください。決勝ラウンドでは勝者が結果を報告し、敗者がボールを持ち帰ってください。
  - (5) 試合用ボールは（ダンロップフォート・イエロー）は本部より支給します。
  - (6) 天候等による試合の有無は、各会場に午前8時に掲示します。中止等による日程変更等は多摩東公園テニスコートに掲示します。また、日没や天候の影響により、本部判断により止むを得ず途中から試合方法の変更を行うことがあります。
  - (7) けいれん等による試合の中断は一人1回限り5分以内とします。また、負傷等に関しては、主催・主管は一切の責任を負いません。各自の責任において処理願います。
  - (8) その他、本記述以外のことがらおよびルールに関しては、日本テニス協会ルールおよび本部による判断とします。
  - (9) 携帯電話等は必ず音が鳴らない状態にしてからコート内に入ってください。

## ●大会役員

大会会長	中山 武士
理事長	徳本 正男
副会長	黒部 道夫、稲垣 友三、松本 透、 松本 雅嗣、山口 鉄二男、 小幡 秀雄、上原 正嗣
実行委員長	粟野 文徳
実行委員	高橋司、川俣あけみ、堀越裕子 井上悠子、鈴木國子、大井孝 清水のぶえ、菊池直樹、石井泉 光来出良彦、山崎弘
審判	池崎和夫、高田幸信、山川英司 金澤秀一、三栖功、水間洋二

多摩市硬式庭球連盟加盟クラブ（50音順）

愛宕テニスクラブ（A）

貝取テニスクラブ（K）

多摩テニスクラブ（T）

多摩センターテニスクラブ（C）

多摩ニュータウンテニスクラブ（NT）

永山テニスクラブ（NH）

奈良原テニスクラブ（NA）

\*末尾の略称はドロー表中の表記です。連盟加盟クラブ以外からの参加者は（F）で示します。